MN128-SOHO IB3 ファームウェア バージョン 1.10 追加説明

この度は、MN128-SOHO IB3をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
MN128-SOHO IB3のマニュアルに追加説明事項があります。
本製品をご使用になる前に、マニュアルとあわせてこの追加説明書をお読みください。

追加説明事項

◎『導入/設定ガイド』（製品付属マニュアル）への追加事項

●VoIPアダプタ対応

VoIPアダプタを接続すると、今お使いのアナログ電話機でIP電話を利用することができます。

☞「VoIPアダプタを使用するには」〈P.2〉

●対応カードの追加

下記の対応カードが追加されています。

無線LANカード：MN SS-LAN CARD 11 HQ（NTT-ME）

●INSネーム・ディスプレイサービスに対応

INSナンバー・ディスプレイサービスのオプションサービス「INSネーム・ディスプレイサービス」に対応しました。TELポートに、ネーム・ディスプレイ対応の電話機（またはアダプタ）を接続して使用できます。

☞「ネーム・ディスプレイ機器を使用する」〈P.4〉

◎『活用ガイド～初級編』（WEB公開マニュアル）への追加事項

●バックアップ回線（ISDN/PHS/FOMA）を指定できます

PPPoEによるブロードバンド接続が切断された場合に備えて、ISDN/PHS/FOMAによる接続回線をバックアップ回線として設定しておくことができます。

☞「バックアップ回線を設定する」〈P.6〉

●OCNエコノミーの設定方法について

OCNエコノミーを利用する際の設定方法について解説します。

☞「OCNエコノミー接続する」〈P.8〉

◎Ver.1.0マニュアル正誤表

Ver.1.0(第1版)のマニュアルに誤りがあります。お詫びしてここに訂正いたします。

☞「Ver.1.0マニュアル正誤表」〈P.12〉

VoIP アダプタを使用するには

本製品では、VoIP アダプタを利用して IP 電話機能を使用することができます。

あらかじめ確認してください

●IP 電話サービスを提供しているプロバイダと契約する必要があります。
●VoIP アダプタは、NTT 東日本、または NTT 西日本の製品のみ対応しています。
●VoIP アダプタは別途ご用意ください。
●VoIP アダプタの接続、および設定方法は、VoIP アダプタの取扱説明書を参照してください。

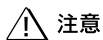
IP 電話サービスを契約したプロバイダをメインセッションにします

IP 電話サービスを使用するプロバイダは、必ずメインセッションにしておきます。

[PPPoE設定:メイン]	
以下の内容で設定を行う	□ （ 設定済:接続相手先登録#0 ）
相手先名称	プロバイダ(メイン)
サービス名 (プロバイダから指定された時のみ入力)	
送信ユーザID	user
送信パスワード	●
DNSサーバアドレス	172.16.15.3

UPnP 機能が ON になっている必要があります（購入時の設定です）

詳細設定ページの［UPnP 設定］で、［UPnP 機能］を［OFF］に変更した場合は、［ON］にします。

[基本]	
UPnP機能	⊙ON ○OFF
[UPnPポート自動削除設定]	
自動削除まで	削除しない

注意

［UPnP ポート自動削除設定］で時間を設定している場合、VoIP アダプタでの通信が無くなってから指定時間が経過すると、VoIP アダプタにより設定されていたポートが自動的に閉じます。この場合、その後の通話ができなくなりますので、再度 VoIP アダプタの電源を入れ直して下さい。

常時接続の設定にしておく必要があります

自動接続制限機能や、自動切断機能を設定した場合、通話中に切断されることがあります。
次の設定項目を変更し、自動接続制限や自動切断機能を使わないように設定してください。

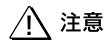
ネーム・ディスプレイ機器を使用する

「INS ネーム・ディスプレイ」サービスを契約している場合、本製品の TEL ポートに接続した電話機に、かかってきた相手先のネーム・ディスプレイ情報を表示することができます。

※ TEL ポートに接続した電話機（またはアダプタ）が、ネーム・ディスプレイに対応している必要があります。

※ かけてくる相手も、ネーム・ディスプレイ情報を登録してある必要があります。登録していない場合はネーム・ディスプレイ情報は表示されません。

契約 NTT INS ナンバー・ディスプレイサービスのオプションサービス
「INS ネーム・ディスプレイ」（有料）

※NTT との契約が必要です。サービスの内容について詳しくは、最寄りの NTT までお問い合わせください。

⚠ 注意

- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイに対応していない電話機（またはアダプタ）をつないでいる場合は、この機能を使用する設定にしないでください。誤動作することがあります。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイを選択すると、相手側からの呼び出しから実際に自分側の呼び出し音が鳴るまでに、しばらく時間がかかります。また、通話中に着信があった場合、「ピッ」という音のあとに、相手との通話が一瞬途切れます。

INS ネーム・ディスプレイ機器を設定します

1 詳細設定ページの［アナログ設定］→［ポートごと］をクリックして、［アナログ設定（ポートごと）］画面を開きます。

2 ネーム・ディスプレイに対応した電話機（またはアダプタ）をつないでいるポートの［ポート接続機器］で、当てはまる機器を選択します。

3 ［INSナンバー・ディスプレイ／オプション機能］を設定します。ここでは、ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイの３種類の機能について設定します。

使用しない：ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイを使用しないときに選びます。

ナンバー・ディスプレイのみ使用する：ナンバー・ディスプレイだけを使用するときに選びます。

キャッチホン・ディスプレイを使用する：ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイを使用するときに選びます。

ネーム・ディスプレイを使用する：ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイを使用するときに選びます。

［ポート1］back

ポート接続機器	モデム／FAX機能付電話
INSナンバー･ディスプレイ／オプション機能	ネーム･ディスプレイを使用する

4 ［設定］ボタンをクリックします。

※キャッチホン・ディスプレイを使用するときは、「擬似キャッチホン（マルチアンサー)」または「キャッチホン（コールウェイティング)」の設定が必要です。設定方法については、製品に付属の『導入/設定ガイド』をお読みください。

One Point!

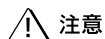
◇ ATコマンドで設定するとき

ネーム・ディスプレイサービス対応により、『リファレンス・ハンドブック』（WEB公開マニュアル）で記載のATコマンドにも下記のような変更があります。

ATコマンド	AT@Er=n[p]
設定コード	32rn[p]
パラメータ	r=1～2　ポート番号 n=0　電話 n=1　モデム/FAX機能付電話 n=2　ファクシミリ p=0　ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイを使用しない p=1　ナンバー・ディスプレイのみ使用する p=2　ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイを使用する p=3　ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイを使用する

バックアップ回線を設定する

◎バックアップ回線とは

PPPoE によるブロードバンド接続を行っているとき、回線の切断に備えて、バックアップ回線を設定しておくことができます。何らかの理由で、PPPoE によるブロードバンド接続が切断されたとき、指定されたバックアップ回線に自動的に発信されます。
なお、バックアップ回線として設定できるのは、ISDN 回線、PHS（PHS カード）、FOMA（FOMA PC カード型端末）の回線です。

> ⚠ 注意
>
> ISDN/PHS/FOMA をバックアップ回線として使用する場合、通信時間に応じた通信料金がかかります。そのため、バックアップ回線による通信が長時間に渡ると、通信料金も高額になりますのでご注意ください。

◎バックアップ回線に切り替わったあとのセッションキープアライブ機能について

PPPoE によるブロードバンド接続が切断され、バックアップ回線に切り替わったあとも、セッションキープアライブ機能が有効になっています。そのため、切断された回線の再接続が試行されます。セッションキープアライブ機能により PPPoE 接続が復活したら、ブロードバンド回線に切り替わり、バックアップ回線は自動的に切断されます。

ISDN 回線または PHS/FOMA 回線の設定を行います

ISDN 回線の設定方法　：『活用ガイド～初級編』（WEB 公開マニュアル）の「2.ISDN でインターネットにアクセス」で解説しています。

PHS/FOMA 回線の設定方法：『導入/設定ガイド』（製品付属マニュアル）の「8.FOMA/PHS/モデムの PC カードを使う」の中の「発信するための設定をしましょう」で解説しています。

上記の設定をしたあとは、必ず回線に接続し、インターネットに接続できることを確認してください。

バックアップ回線を設定します

1 詳細設定ページの［接続/相手先登録］で、バックアップ回線を設定したい相手先をクリックします。ここでは「#0」の［接続/相手先登録］画面を開きます。

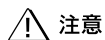
2 [PPPoE セッションキープアライブ設定] で [バックアップ] を選択します。

3 [バックアップ用相手先] を選択します。

※下の画面は、「#8」を選択している場合です。

4 [設定] ボタンをクリックします。

以降、指定した回線がバックアップ回線として使用されます。

⚠ 注意

バックアップ回線を指定できるのは、PPPoE による接続のみです。[接続/相手先登録] 画面の [通信チャネル] で PPPoE 以外を選択している場合は、バックアップ回線の設定を行っても無効になります。

One Point!

◇ バックアップ回線で自動切断時間が設定されている場合

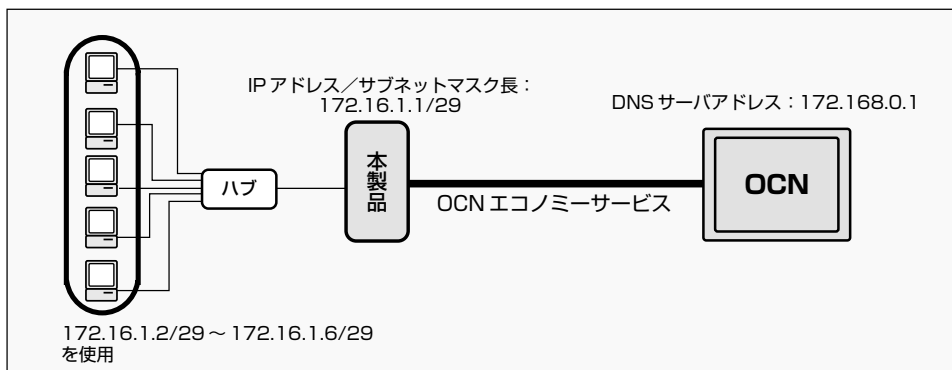
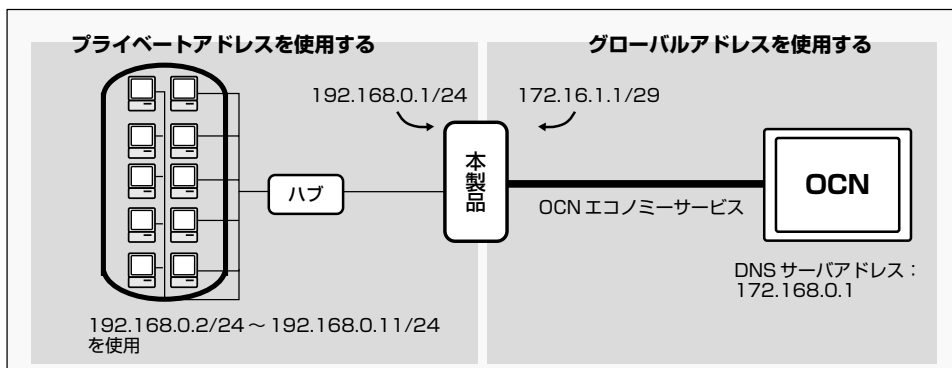
バックアップ回線の設定で、自動切断時間が設定されている場合、その時間通信が行われなかった場合、自動的にバックアップ回線が切断されます。

OCN エコノミー接続する

OCN エコノミーサービスを契約すると、グローバル IP アドレスを取得し、常時接続することができます。ここでは次のような契約内容を例に解説します。

OCN 側の DNS サーバの IP アドレス/サブネットマスク長：172.168.0.1/29
取得する IP アドレス/サブネットマスク長：172.16.1.0/29～172.16.1.7/29（8 個）

また、ここでは、次の 2 つのパターンの設定例について、まとめて解説します。

（1）LAN 内のパソコンにグローバル IP アドレスを割り当てる

（2）LAN 内のパソコンにプライベート IP アドレスを割り当てる

OCN エコノミー接続の設定をします

1 設定ページを開き、クイック設定ページの［ISDN で接続］→［端末型ダイヤルアップ］をクリックします。

［ISDN クイック設定（端末型ダイヤルアップ）］画面が表示されます。

2 ［相手先名称］に「OCN」と入力します。

[接続設定] （未設定:接続相手先登録#0）	
相手先名称	OCN
相手先電話番号	

3 ［設定］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

4 詳細設定ページを開き、［接続/相手先登録］→「#0 OCN」をクリックします。

［接続/相手先登録］画面が表示されます。

5 ［発信］で次の項目を設定します。

［DNSサーバアドレス］：OCNエコノミーで指定されたDNSサーバアドレスを入力
［通信チャネル］：［2B(128kbps/MP)］
［接続モード］：［LAN型］

6 ［自動切断］で次の項目を設定します。

［最大接続時間］：0
［自動切断タイマ］：0

7 ［自動接続制限］で次の項目を設定します。

［料金による制限］：0
［接続回数による制限］：0

8 ［以上の情報を登録する］をクリックし、［実行］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

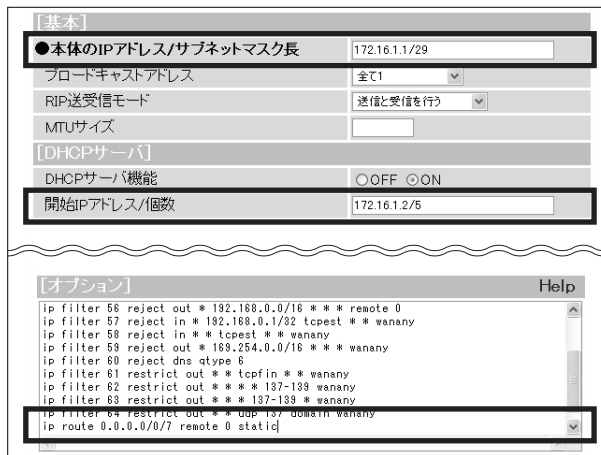
9 詳細設定ページの［ルータ設定］→［ISDN］をクリックします。

［ルータ設定（ISDN）］画面が表示されます。

10 ［回線種別］で［専用線128kbps］を選択します。

11 ［設定］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

12 詳細設定ページの［ルータ設定］→［LAN］をクリックします。

［ルータ設定（LAN）］画面で、LAN上の機器に割り当てるIPアドレスを指定します。

(1)LAN内のIPアドレスにグローバルIPアドレスを使用する場合

［基本］→［本体のIPアドレス/サブネットマスク長］：172.16.1.1/29

［DHCPサーバ］→［開始IPアドレス/個数］：172.16.1.2/5

［オプション］：次のコマンドを入力

ip route 0.0.0.0/0/7 remote 0 static

(2)LAN内のIPアドレスにプライベートIPアドレスを使用する場合

［基本］→［本体のIPアドレス/サブネットマスク長］：192.168.0.1/24のまま

［DHCPサーバ］→［開始IPアドレス/個数］：192.168.0.2/10

［オプション］：次のコマンドを入力

```
ip nat 1 192.168.0.1 172.16.1.1 remote 0
ip nat 2 192.168.0.2 172.16.1.2 remote 0
ip nat 3 192.168.0.3 172.16.1.3 remote 0
ip nat 4 192.168.0.4 172.16.1.4 remote 0
ip nat 5 192.168.0.5 172.16.1.5 remote 0
ip nat 6 192.168.0.6-192.168.0.11 172.16.1.6 remote 0
ip route 0.0.0.0/0/7 remote 0 static
```

13 ［設定］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

14 回線を接続し、本体およびパソコンを再起動してください。

Ver.1.0マニュアル 正誤表

Ver.1.0（第１版）のマニュアルに誤りがありました。お詫びしてここに訂正いたします。

◎『導入/設定ガイド』（製品付属マニュアル）

記載箇所	誤	正
「（3）WEPによる暗号化通信を行う」〈P.77〉	●128bitのとき card air11 wep key 128 XX:XX:...	●128bitのとき card air11 wep key 128 {keynumber} XX:XX:... ※パラメータ{keynumber}には、キー番号１～４のいずれかが入ります。
「（3）WEPによる暗号化通信を行う」〈P.77〉	●152bitのとき card air11 wep key 152 XX:XX:...	●152bitのとき card air11 wep key 152 {keynumber} XX:XX:... ※パラメータ{keynumber}には、キー番号１～４のいずれかが入ります。

◎『リファレンス・ハンドブック』（WEB公開マニュアル）

<table>
<tr><th>記載箇所</th><th>誤</th><th>正</th></tr>
<tr>
<td>「ATコマンド・設定コード早見表（ルータ機能/アナログ機能/前全設定消去）」→「#A」〈P.135〉</td>
<td><table>
<tr><th>機能</th><th>ATコマンド</th><th>設定コード</th><th>書式</th></tr>
<tr><td rowspan="2">音量の調節</td><td rowspan="2">#A</td><td rowspan="2">24</td><td>AT#Arm=n</td></tr>
<tr><td>24rmn</td></tr>
</table></td>
<td><table>
<tr><th>機能</th><th>ATコマンド</th><th>設定コード</th><th>書式</th></tr>
<tr><td>音量の調節</td><td>#A</td><td>−</td><td>AT#Arm=n</td></tr>
</table></td>
</tr>
</table>

◎『活用ガイド～中・上級編』（WEB公開マニュアル）

記載箇所	誤	正
「専用線でインターネットに接続する」〈P.34〉	補足	専用線で接続する場合、必ず接続/相手先登録の「#0」が使用されます。

■お問い合わせ先

本製品について技術的なご質問、または製品のアップグレードに関するご質問は、お買い上げの販売代理店、小売店、または技術サポートセンタまでお問い合わせください。

技術サポートセンタ

Tel.　0570－055－128（NTT 一般電話、携帯電話用）
　　　03－5675－7956（PHS、およびNTT以外の電話用）
Fax.　0570－056－128
※9:40～12:00、13:00～18:00（土・日・休日・年末年始は除く）

■ホームページのご案内

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイーのホームページで、製品のサポート情報などを提供しています。

MN128-SOHO ホームページ

◎ 株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー「MN128 Information」
　　http://www.ntt-me.co.jp/mn128/